

防災対策セミナー

～大阪北部地震から1年を迎えて～
「地域防災力の向上をめざして」

令和元年 6/8(土)

【場所】 ゆうゆうセンター4階 交流ホール
※駐車スペースに限りがあります。公共交通機関をご利用ください。

【時間】 13:00～16:00

【定員】 400人(先着順) 【費用】 無料

【内容】 河田教授による講演、市環境事業課による被災地支援報告、その他企業、社会福祉協議会等による防災関係ブース展示



関西大学特別任命教授
かわた よしあき
河田 恵昭氏

関西大学社会安全学部・社会安全研究センター長・特別任命教授。工学博士。専門は防災・減災・縮災。現在、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長(兼務)のほか、京大防災研究所長を歴任。京都大学名誉教授。現在、中央防災会議防災対策実行会議委員。日本自然災害学会および日本災害情報学会会長を歴任。

著書:『にげましょう』(共同通信社)『日本水没』(朝日新書)、『津波災害(増補版)』(岩波新書)など。

民間事業者と災害時のための協定を締結しています

市は、大規模災害に備え、民間事業者と協定を締結しています。これらの協定を生かし、災害時は可能な限り市民生活への影響が出ないように努めます。

北村石油株式会社

「災害時における非常用発電機用燃料の優先供給協力に関する協定」

昨年度に設置した非常用発電機を、災害があった時に円滑に活動できる時間を確保するため、協定を締結しました。



株式会社アカカベ

「災害時における生活物資の供給等に関する協定」

災害時に市民生活の安定を図るため、生活物資の供給と運搬に関する協定を締結しました。



Check!

二次災害にも注意していますか？

地震後は地盤が緩み土砂崩れが起きやすくなっています。他にも、屋根の瓦や外壁の落下の恐れもあります。避難経路の危険な箇所にも注意しておきましょう。また、地震による停電後に電気が復旧し、通電する際に火花が出て火災になることがあります。避難等で長時間家を空けるときはブレーカーを落としておくことを忘れずに！



Check!

交野市で起きうる災害を知っていますか？

どんな規模の地震が起きる可能性があるか知っておきましょう。交野市では南海トラフ地震よりも直下型の生駒断層帯地震の方がはるかに被害の規模が大きく、死者28人、負傷者818人、全壊3,133棟、半壊3,792棟、避難所生活者は6,391人になると想定されています。

